

# 徳川時代の魅力伝える

静岡文芸大「遊芸と家元」テーマ  
学長が講演



徳川時代の遊芸や家元制度について講演する熊倉学長  
＝静岡市葵区の市民文化会館

徳川時代の魅力を県内外に発信する「徳川

「徳川」第2回講演会を静岡市

葵区の市民文化会館で開いた。会員ら約50

0人が静岡文化芸術大の熊倉功夫学長の講演「遊芸と家元―日本独特の遊びと組織」に耳を傾けた。

熊倉氏は和歌や生け花などの遊びの世界「遊芸」が江戸時代に

発展した理由について、「専門家が師匠として弟子に伝承する体制が構築されたことが大きかった」と説明した。

聴講した会員の自営業小川宏之さん(57)は「終身雇用や年功序列など、家元制度が現在の日本の企業構造につながっているという点が非常に興味深かった」と話した。